

いきなりですか?!



美唄市医師会
市立美唄病院

毛利 智 好

平成29年8月より市立美唄病院総合診療科での勤務開始とともに美唄市医師会および北海道医師会に入会させていただきました。関西生まれ、関西育ち、大学も職場もずっと関西で、これまで関西（実際には大阪府と兵庫県）で40年以上（研修医の時に2年間だけ関西から出て静岡で勤務したのみ）生活してきた私に、北海道の病院に勤務しはじめて数ヶ月で北海道医師会から「戌年生まれ会員各位」と銘打った新春随想原稿依頼が届きました。まだ生活に慣れるのに精いっぱい、右も左もまだ分かっていない状態で原稿依頼って…。本当に無作為抽出なのでしょうが、「いきなりですか？ 少しは忖度していただきたかったなあ」と思いつつも微力ながらご協力（執筆）させていただきます。

北海道の病院で勤務し始めてみて、（実はそれほど気にはなっていないのですが）診療していると、北海道特有の言葉遣いに時々戸惑うことがあります。勤務初日、「もうすぐ体のコワイ人が救急車で来ます」と救急外来の看護師さんから連絡。「コワイひと？ ヤクザみたいな??」関西にはコワイ（おっかないと言うのでしょうか？）お兄ちゃんや入れ墨だらけのおっちゃん（おじさんのことです）がそこそこおられますので、そのような患者さんの対応にはある程度慣れているとはいえ、いきなりコワイひとは嫌だなあと思っていると、小さなおばあさんが救急車でやってきて何だかしんどそう…そういう意味か、コワイって。また、病棟では「先生、〇〇さんのことだったんですが、血圧が高いのでこの薬飲ませていいですか?」…『だった』ってそれ過去形じゃないの？ もう飲ませたのかと聞き返したら、まだこれからだと言う。『〇〇さんのことなんですが』が丁寧な言い方になると『〇〇さんのことだったんですが』になるみたい。マック（関西人はマクドと呼んでます）で注文したときに店員さんから「ビックマックセットお一つで『よろしかった』でしょうか?」と聞かれるのと同じだと思えば納得いきました。

それ以外には「いずい」「かっちゃん」などなど、少しずつ慣れてはきましたが、東北訛りのようなエゲツなさは無いので、言葉や文化の違いにも時々驚きつつ楽しみながら働かせていただいております。本年もどうぞよろしく願い申し上げます（これは誤った使い方ですか?）。

年男雑感



北見医師会
JA北海道厚生連常呂厚生病院

山下 昇 史

新年明けましておめでとうございます。まだまだ若いと思っているうちに、気が付けば還暦を迎える年齢となりました。「新春随想」の執筆依頼がありましたので、思いつくままに雑文を書かせていただきます。

私は当地常呂町には平成14年に初めて赴任し、国保病院に2年間勤務した後、平成19年4月に復帰しまして、合併後の北見市から北海道厚生連への経営移譲に伴い、平成19年12月から現在の病院への勤務となって早や10年が過ぎました。常勤医師3名でやっておりますので現在も月に8～9回程度の当直が当たりますが、年々つらくなってきております。でも休日当直は免除していただいているので何とか頑張っております。

常呂町といえば冬季競技のカーリングが有名で、オリンピック選手を何人も輩出しており、今年2月の平昌オリンピックにも、女子チームとして常呂町出身の本橋麻里さん率いる「LS北見」が出場することになっております。

常呂町には「常呂カーリング倶楽部」という団体があり、中学生から70歳代のお年寄りまで約40チームが競技登録を行い、11月から3月までのシーズンにリーグ戦を行っております。今年は1部から5部までに計42チームが登録しており、当院の職員が所属するチームは計4チームでそれぞれ熱戦(?)を繰り広げております。かくいう私もその中の1チームの末席を汚しており、何とか3部で試合を行っております。イメージトレーニングはよく行うのですが、実際の練習をしないので何年たっても上達しません。それでも運動不足を解消するべく、チームメイトになるべく迷惑がかからないように参加させてもらっております。

倶楽部の1部にはオリンピック選手や日本選手権の2位、3位のチームがいますので、隣のシートで競技しているのを生で見られることもできます。オリンピック選手と素人が同じ会場で同時に競技するスポーツというのはなかなかないのではないのでしょうか。また、おじいさんのチームとそのお孫さんの中学生チームが直接戦う競技というのもカーリングくらいだと思います。

今シーズンも何とか3部残留を目指して頑張ろうと思っております。みなさんも2月のオリンピックではカーリングに注目してみてもいかがでしょうか?